

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'99
4

月号【1日発行】

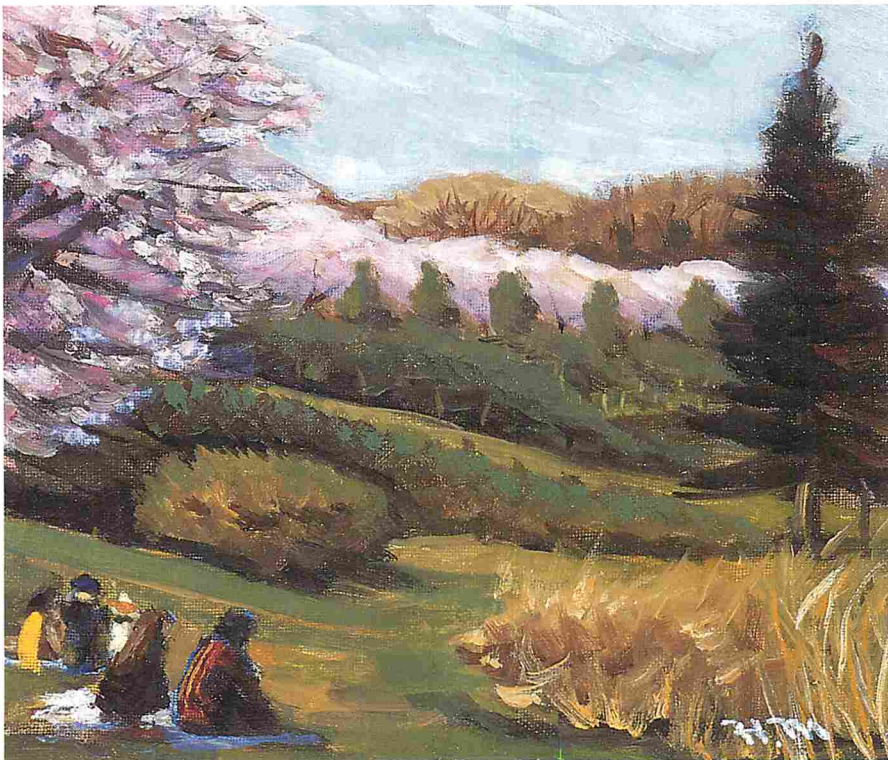


いまを話す

声楽家で合唱指揮者

辻 秀幸 さん

オペラ嫌いは
食わず嫌い？冗談交えた解説に沸く
歌う幸せ共に15のアマ合唱団と



小誌の取材・編集スタッフを募集

3
ページ

Stage Up 4 月号もくじ/1999年

■ほんねインタビュー いまを話す
 声楽家で合唱指揮者

辻 秀幸 さん
 オペラ嫌いは食わず嫌い？冗談交えた解説に沸く
 歌う幸せ共に 15のアマ合唱団と

■はりきってます グループ紹介
 人間関係つなぐことばを探る

ふみの会(中原区)
 気功で健康づくりに励む
 気寿会(中原区)

●学習・文化情報
 12

□マルセ太郎の「殺陣師段平物語」
 14

●会員募集
 15

◆川崎市民オペラゴールデン・コンサート

□編集後記
 裏表紙

「あそびの寺子屋」参加者募集

◇表紙絵……緑ヶ丘霊園の桜(高津区)——村楢広義さん

(小誌は再生紙を使用しています)

かわさき市民アカデミー公開講座

生命科学がいま教えていること

——免疫の意味論——

◆講師 多田富雄・東京理科大生命科学研究所所長

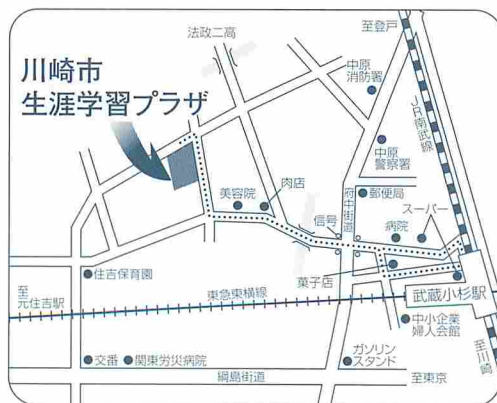
免疫。それは体内に病原菌や毒素、異物が侵入しても、それに打ちかつ不思議な力。この冬、インフルエンザは多くの人命を奪いました。文明の発達は免疫力を低下させたのでしょうか。免疫学の第一人者、多田富雄さんが「免疫の意味」について講演します。

●日時 4月3日(土)11時～12時半

●会場 川崎市生涯学習プラザ
 (JR武蔵小杉駅下車徒歩12分)

●定員 先着100人 無料

●受講希望の方は ☎(733) 6626
 かわさき市民アカデミー事務局まで



ステージ・アップ

小誌の取材・編集スタッフを募集

イマジネーションを広げませんか

生涯学習情報誌「Stage Up」の取材・編集スタッフ（当事業団総務室嘱託職員）を1名募集します。

あなたは、マニュアルにしたがって仕事をした経験がありますか。深く考えなくても仕事は進みます。でも、充実感に乏しい気持ちを抱えたまま過ごしてきませんでしたか。

「Stage Up」の仕事は、それとは逆です。自分の頭で考える。取材対象者から学ぶ。自分の感性を磨く。イマジネーションを広げる。どれ一つを実行するにも、最初のうちは、苦しいことが多いと思います。「それを承知で応募する」。その志が大切なのです。

なぜなら、苦勞しながら仕事をした日々を「肥やし、にして、近い将来、「自己実現」を結実させる夢に近づけるからです。応募、お待ちしております。

＜応募資格＞①川崎市内在住の50歳未満の健康な男女。学歴、経験不問②ワープロをブラインド・タッチで10分間に250文字打てる③取材や編集に意欲がある④グループ活動に参加、または生涯学習に興味がある——の要件を満たしている方です。

＜応募方法＞4月12日（月）必着で、〒215-0004 麻生区万福寺1の2の2、新百合21ビルB2、（財）川崎市生涯学習振興事業団ステージ・アップ編集チーム職員採用係へ、市販の履歴書（写真付き、「志望の動機」を明記）を郵送して下さい。試験時間の変更などで電話連絡をすることがありますので、4月13～15日の在宅時間を明記してください。履歴書は返却しません。内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

＜採用試験日＞4月16日（金）午前10時から、当事業団会議室（小田急線新百合ヶ丘駅から徒歩3分、新百合21ビル地下2階）で行います。同9時50分までに、受け付けを済ませてください。試験内容は①面接②筆記（おもに常識問題）③ワープロ実技④問題（資料）をもとに、ワープロで300字以内の新聞原稿作り（順不同）です。時間は①～④で約2時間ですが、応募者多数のときは「午前の部」「午後の部」に分けて実施します。なお、ワープロは「東芝ルポ」JWかVシリーズを用意します。他機種（印刷ができること）ワープロを持参したい方は、履歴書郵送の際にメモ用紙に赤色でその旨を記し同封してください。

＜採用期間＞5月1日～来年3月31日としますが、勤務成績がいい方は採用時から雇用期間が5年を越えない範囲で更新します。

＜勤務場所＞当事業団総務室ステージアップ編集室（新百合21ビル）と取材先などです。

＜勤務日＞火曜～金曜の4日間（週4勤3休）。なお、取材のため休日出勤をすることがあります。

＜勤務時間＞原則として、午前8時45分～午後5時の実働7時間15分、1週実働29時間です。仕事の都合で勤務時間が延びたり、休日出勤したときは代休・半代休が取れます。

＜報酬など＞月収172,400円（通勤手当別途支給）。期末・年末手当、退職金はありません。

＜その他＞有給休暇は年7日（他に夏季休暇がある）。健康保険、厚生年金、雇用保険があります。

＜採用合否＞4月20日ごろ封書でお知らせします。

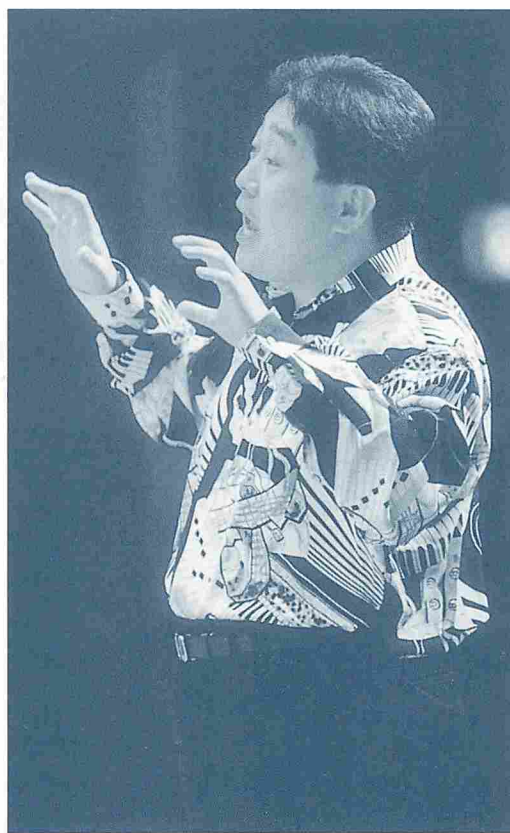
いまを話す

ゲスト

声楽家で合唱指揮者
日本合唱指揮者協会理事

辻 秀幸 さん

Vol.73

オペラ嫌いは
食わず嫌い？
冗談交えた解説に沸く歌
壇
で
15のアマ合唱団と

サービス精神が盛んなテノール歌手である。「川崎市民オペラ」では、アリア（独唱曲）の情景や恋心についての解説が評判。「うっとりさせる声、とぼけた表情、ユーモアを交えた話のすべてが辻秀幸さんの魅力」というファンが多い。「歌曲やオペラはむずかしい」と敬遠していた市民も「解説入りオペラはわかる。楽しい」と口コミで広がりほほ満席。本職はまだある。十五のアマチュア合唱団の指導・指揮者だ。「歌うことを楽しみたい、歌うことで喜びや幸せを共にする世界にいたい」という。このアマ合唱団への温かい思いは、音楽に占める合唱の役割の大きさ、奥深さに裏打ちされている。聞き手は朗読指導の伊藤眞弓さん。

——私、「川崎市民オペラ」ゴ
ールデン・コンサート（一九九
八年六月十二日、多摩市民館）を
ビデオで見せていただき、辻さん
の曲の解説が楽しくて、オペラが
非常に身近に感じられました。
辻さん ありがとうございます。
——あのような試みは以前から
されていたのですか。

辻さん 十数年前になりますけ
れど、オペラ歌手を集めて「サウ
ンド・オブ・ミュージック」とい
うミュージカルを上演したんです。
そのとき、オペラ歌手の負担を軽

くし、動きをカバーするため自分
で台本を書いて、それを読みなが
ら進めたんです。これがとても受
けがよくて……。

——聴衆が、わかったんですね。
辻さん そうなんです。安易に
日本語でオペラをやっても、観客
には理解しづらい面があります。
このオペラのアリアの背景にはこ
ういう状況がある、という解説が
入ると、なぜこの言葉を強調して
歌っているのか、ということも理
解して聞くことができると思うん
です。

——話し手のキャラクターにも
よると思いますが。このアイデア
は、たまたま思いつかれたのです
か、なにか問題意識があつて……。

辻さん 問題意識というほどの
ことではありませんが「なるべく
低料金で、狭い場所でもオペラの
雰囲気味わってもらえたら」と
いう思いはありました。そして、
日本語にするとか、場面転換を単
純にするということも考えました。
けれど「あえてタブーを壊してみ
ようか」と思っただんです。オペラ
でいえば「前もってしゃべりを入
れて解説する」ということです。
お客さんが「解説入りオペラ」

めざすは本格的オペラ公演だ

身近に音楽たのしむ環境を

になじんでもつたら、次に鑑賞される時、タブー抜きというか、本来のオペラを見てみたいという気になってもらえるのではないか、と思ったんです。



——その効果は、ありましたね。
辻さん そうなんです。

——しかも、金額的にはケタ違いですよ。

辻さん ええ。数千万円の世界が、十万円くらいになります。舞台装置分をしゃべるんですから。たとえば、パリの郊外のこういう風景の場所とか、それまでの登場人物についても全部しゃべるわけですから、効果は抜群です。

——そこで聞くアリアは違和感がなく、心にしみ入ると思います。

辻さん でも、われわれが本来目指しているオペラとは違うんです。演奏家にとっては演奏するところが大事ですし、身近なところで音楽を楽しむ環境があることは、観客にとってもいいことです。これは苦肉の策で、予算的に無理がある場合に提案しています。

それから、行政に理解していただき援助をお願いするためにも、わかりやすさは大事です。それと同時に、本来の姿のオペラを目標に公演していきたいという思いは

常にあります。

——プロの醍醐味を受け入れる素地が広がると思いますね。オペラの他に、いろいろなことをしていってほしいですね。

辻さん まず、コーラスの指導者、それから声楽家としての活動も多いですね。また、学校で教えているんですが、不思議なことに福祉関係の学校ばかりなんです。老人福祉とか幼児教育に関係した



学校を希望したわけではないんですけれど……。

——現在、品川介護福祉専門学校で教えていらつしやるんですか。

辻さん はい、そうです。そこを卒業して介護士になる人たちに音楽を教えています。介護士になると特別養護老人ホームなどのおじいさん、おばあさんと一緒に歌をうたいますが、われわれが一緒に歌をうたう場合、どんな曲がい

辻 秀幸 さん

つじ・ひでゆき=1958年、東京都品川区生まれ。81年、東京芸術大学音楽学部声楽科卒。84年、同大学院修士課程独唱科修了。85年、ヨーロッパに留学。86年、イタリアのノバラ市国際声楽コンクールで入賞。97年、WYC(世界巡回リサイタルを開く一方、アマチュア合唱団の指導・育成に尽力。現在、品川介護福祉専門学校講師、日本合唱指揮者協会理事、川崎市民オペラ運営委員。多摩区登戸で妻、一女、両親と二世帯住宅で暮らす。

——と思いますか。

——まずは、童謡でしょうか。
辻さん そうですね。だれもが童謡、唱歌がよからうと思いますよね。ですから、声楽家の方々も慰問に来て歌ってくださいるのも童謡、唱歌ばかりです。でも、そうなるとお年寄りのみなさんは飽きてしまうんです。

——そうでしょうかね。フォークソングのフォークが、治療に効果があるという話もあるようですね。

辻さん それは七十年代、八十年代の方たちが青春時代にフォークソングのフォークを聞き、ジャズも楽し

高齢者はオペラがお好き?!

歌劇団全盛期に青春してた

佐竹由美さんとデュエット(昨年の12月、宿河原小で)



んでいたからですよ。童謡、唱歌もわれわれ以上に親しんでいたわけですが……。もう一つ、想像がつかないほど親しんでいたものが「オペラ」なんです。

——それは驚きです。

辻さん 戦前の昭和十三年以降、藤原義江が歌舞伎座や帝国劇場の

昼夜の公演を満席にしていたんです。いま、そんなオペラはどこにもありません。藤原義江のいちばんのパートナーが山田耕筰だった時代です。藤原歌劇団の他に、浅草オペラや地方でもオペラをやるうという団体があったんです。

——そのころのオペラを楽しん

でいらしたお年寄りの方たちに、オペラを歌ってあげていると。

辻さん ええ。ある時、老人ホームで田谷力三さん「おはこ」の「恋はやさし」を歌ったことがあるんです。これはリサーチ(事前調査)して臨んだんですが、真空中に座っていたおばあさんが一緒に歌い出したんです。しかも一字一句間違えずにね。

歌い終わったら、寮母さんがみんな泣いているんです。どうしたんだろうと思つたら、そのおばあさんが、老人ホームに入って初めて言葉を発したからだったんです。

——感動的な場面に出会えたんですね。

辻さん そうです。そのためにはリサーチが必要です。老人福祉というのは、これからますます大きな仕事になっていくと思いますけれど、音楽を使うにしても「快気させるパワーのある歌」を選ぶべきです。つねに「この曲でいいのかな」と自分に疑問をもつことが大切なのです。

——お年寄りを快気させる歌を選ぶためのリサーチが大切と。

辻さん 学校には、介護士を志す十八歳から四十八歳までの学生

が学んでいます。僕が最初に教えるのは「音楽は、リサーチしてから始めよう」です。そして(将来の)介護士へリサーチすることの大切さの指導をしています。

——宿河原小体育館で昨年暮れ、クリスマスコンサートを奥様の佐竹由美さん(ソプラノ)とご一緒になさいましたね。

辻さん はい。とても喜んでいただきました。

——そのとき、舞台を使わないで、演奏されたそうですが。

辻さん あの日のお客様は、子供さんが大勢いました。ですから、僕ら(歌い手)と子供たちの視線を近付けたかったのです。それで、ああいふ低い、形だけのステージをつくったのです。演奏終了後、父母から「後ろの客席の上で小さな子供たちが、ピョンピョン飛びはねて喜んでいました」と知らされました。

——いつも、いろいろ工夫されているのですか。

辻さん 余談ですが、税理士さんに書類を出したとき「サービス業」に丸をつけて叱られたことがあるんです。職業欄に音楽家がなかったことと、自由業もぴんとこ

曲や演出はリサーチで

観客へのサービス忘れぬ

なかつたんですね。でも、僕が舞台に立ったときに、自然にやっていくことは、やはりサービスなんですね。

何かを提供しようとするわけですからね。



辻さん ええ。そういう気持ちで人前に立ったとき、とくに子供の目は私を凝視します。それが歌っていくうちに、よそ見されたら、いやじゃないですか。ですから、そうさせないための努力と工夫をするわけです。

辻さん それではリサーチの重視と。辻さん そうです。

いま、サービスとおっしゃ

いしましたが、合唱団の発表会とか演奏会が、合唱団員の自己満足に終わっていて、つまらないと感じることがあります。技術的には優れているのかもしれませんが、聴衆にアピールする意識が欠落しているように思います。

辻さん 耳が痛くて取れそうなお指摘です(苦笑)。合唱団のほとんどが素人の集まりです。しかも日本人の普段のテンション(精神的張り)は非常に低いわけです。そういう人たちのテンションを舞台で一気に高めるのは大変なことなんです。これは素人に限らず、日本人全体の特徴でもあるんですね。ヨーロッパで習ったときの先生が、声楽を志す各国の学生に対し「日本人には叱る。アメリカ人には励ます。ヨーロッパの人には褒める」とおっしゃいました。同じ教育効果をあげるために、これだけ対応が違うわけです。

国民性の特徴に配慮した指

導が大切ということですね。

辻さん ですから「歌うことを楽しみたい」と思っている素人の人たちを叱ってまで、観客に意識を向けさせることにどれほどの意味があるだろうかと思えます。

ステージでどんなにいい歌をうたっても、形あるものは何も残らないんです。それでも、歌うことに喜びを感じることはできるのは、それが入場料に見合うかどうかの世界ではなく、自分たちが演じていることをどれだけ貴いと思えるかどうか、ということだと思えます。ほくは、一週間に約十団体のアマチュア合唱団の指導をしています。毎日歌を練習しているわけではありません。週一回の限られた時間の中で、いいことをさせるのが大事です。もちろん、正しい音程やリズム、発音も大切です。でも、「簡単な歌でも、合唱にする」とこんなにはばらしい曲に



伊藤真弓さん

伊藤 真弓 さん

いとう・まゆみ＝米国 Grand View College 卒業。仕事名は上級朗読指導者。英語教室を主宰。中原区在住。

「なるんだ」ということを味わってほしい、幸せや喜びを共にすることの方が大事だと思えます。僕が音楽から受けた喜びを通して、みんなと一緒に歌うことを楽しむのが基本なのです。アマチュアの人たちに支持されない音楽は文化とはいえません。

基本は「合唱団のそれぞれのメンバーが十分に楽しむ」と。

辻さん そう思います。それができたとき、団員の視線は指揮者を離れて客席をとらえます。最初、それは一瞬のことですが、今度はその一瞬を持続させて、観客のために歌えるようにするのが僕たちの指導力でもあるのです。ふだんから指揮者と合唱団がいい時間を共有していればいるほど、ステージに立ったときの観客へのアピールもスムーズにできるといえるのが

実感です(うなずきながら)。

——辻さんが、なぜ合唱に魅せられたのか。少しわかってきました。最初から「合唱ひとすじ」だったのですか。

辻さん 父がコーラスの指揮者で、子供のころからアマチュアの人たちの上手な合唱を聞いて育ちました。父の影響から僕は声楽をはじめましたが、そのときは「合唱はアマチュアの楽しみ」と思っ

川崎市民オペラで、ブッチーニ「ラ・ボエーム」を村谷祥子さん(ソプラノ)と二重唱する辻さん(テノール)



ていました。しかし、学生るとき、

バッハカンタータクラブというサークルに入っていました。バッハが作った二百曲以上のカンタータ(楽器伴奏付きの声楽作品)で、合唱が重要な役割をしていることを知りまして……。歌を専門に勉強するほどに合唱の大きさ、奥深さを感じたのです。合唱の指導をするようになったのは、アマチュ

合唱 奥深さ、 バッハに学び

簡潔な歌も素晴らしい



アの人たちから「秀さんやってみたい」と声を掛けられたのがきっかけなんです。

——音楽にかかわるすべてを楽しんでいらつしゃいますね。

辻さん 音楽は楽しいんです。小さいころから両親や周囲の方から音楽を与えてもらってよかったと、つくづく思います。それだけ「音楽は楽しい」ということです。

「音楽は楽しくなくちゃだめだ」というのは、音楽を信じていない人のセリフです(身を乗り出し)。——楽器もいろいろなさったようですね。

辻さん 僕が生まれた家の隣の

楽しくわかる解説は大好評

人は、ヴァイオリンとギターを作っていて、三歳のときにヴァイオリンをもらったんです。その後、ピアノを習い、中学生で作曲を始めました。そのころから「この楽器はどういう音がでるんだろう」という興味からトランペット、フルートもやりました。

僕のライフワークは「宗教音楽」なんです。メサイアであるとかマタイ受難曲、レクイエムといった作品の演奏にたずさわっていきたくて、曲全体を指揮することもありますし、あるいは、曲の中のソロを歌うということもしたいと思っています。そういうことをするために、小さいときからやっていたことが大いに役立ちます。

——なぜ、宗教音楽なのですか。

辻さん この場合の宗教は、キリスト教をさすのですが、キリスト教がなければ、クラシック音楽の八割がないわけですよ。ということは、キリスト教を理解せずに、声楽曲などの演奏は出来ようはずがないのですが、みんな歌っています。言葉の勉強はするのですが、その意味を理解して歌っている人

は少ないですね。最初は自分もそうでした。しかし、ある時、宗教音楽の主任教授に「よく歌うけれど、聖書を読んでいないのがよくわかる」といわれたんです。

——それで、どうなされたんですか。

辻さん 友達が霊南坂教会に連れて行ってくれました。教会に通うようになってしばらくして、聖歌隊で歌うようになったんですが、



みんな下手でした。でも、意味がわかって歌っているの、心に響くんです。「教授が言われたのは、このことか」と思いましたね。

——そして、クリスチャンにな

られたのですね。

辻さん そうです。それで、これは宣伝になります。発音、イントネーションに着目したCD付きの解説書を出したんです。「わかって歌おうシリーズ」というんです。日本には今まで、こういう

解説書はなかったんです。意味を理解して、意味がわかった時のイントネーションはこうなる、というような内容で「レクイエム」と「フィガロの結婚」を出しました。結構評判がいいんです。

——つねに前向きな姿勢ですね。「自分の才能に限界を感じた」という音楽家がいますけれど、そういうときはありましたか。

辻さん 僕の好きな言葉に「短所を直す時間は人生にはない。長所を伸ばす時間しかない」というのがあります。そう思ったら、限界とか壁はないんです。もうひとつ「指揮者に知らなくていいことは何ひとつない」という言葉があ



りますが、発想という点からも、音楽をつくるという点からも、指揮者は知っていて悪いことは何一つないということです。こう思いながら毎日を送っていますので、限界というのは見えてきませんね(にこやかに)。

——ところで、辻さんは多摩区にお住まいですけれど、川崎市でお仕事をされる場合、他と違うところはありますか。

辻さん 市民館など会館の人たちが、すごく親切だということですね。愛想がいいというわけではなくて、こちらが「こうして

もらえないでしょうか」といったことに、頭ごなしに拒否されたことはありません。よその公共施設は、たいいてい「それは駄目です」と、取り付く島がありません。市内のいろいろな市民館に行きましたが、こちらの要求に対して「なるほどね」と、理解を示してくれてから「ちょっと待ってください」と考慮してくれるんです。ありがたいことです。

——とてもいいお話ですね。

辻さん 譲歩することも多いんですけど、なにかが開けるんですよ。ただ、「もつと設備が備わったらすごくいいのに」とは思いませんね(笑顔を絶やさずに)。

——最後に、辻さんの夢をお聞かせください。

辻さん 正直いって、いま、僕は夢の中にいるような気がしますね。まあ、貧乏はしますけれど、いやな仕事、いやなことはいませんから。

——ほーお。楽しいお話、ありがとうございます。

題字は高橋清・川崎市市長

構成／富樫 恭子

文責／田中 圀

カメラ／山本 綾子

設備の一層の充実が課題

親切的な川崎の市民館職員

辻秀幸さんの演奏会と女声合唱の昭和史 4月25日(日)13時30分開演、新宿文化センター大ホール。
入場料3千円(全席自由)。問い合わせは☎03(39552)7207の日本合唱指揮者協会。

はりきってます グループ紹介

心の表現大切に
発見と喜び求めて

仲間と楽しむ

学

活動する

生かす

この日のテーマは「本と私」。昨秋、美智子皇后陛下下の講演「子供時代の読書の思い出」がきっかけだった。

まず、講師の森久保安美・前産能大教授が、剣道少年だった自分を文学に導いた和歌との出会いを話す。当時、近所に住む知人の少女時代の歌集を朗読する。「日本髪 はじめて結びし その日よ乙女となりし 思ひはつよぎ、一髪を結うことで、少女から女へという思いと、もう子供ではない悲しさが入り混った歌です。そのころ、私は体を壊し、文芸部に入って歌をつくるようになった忘れられない歌です」と懐かしむ。すこしたって、それぞれの会員が「いまの自分のもと」となった本との出会いを話す。

佐久間五朗さん(67)は戦後間もないころ、一冊の哲学の本を読んだ。それまで「人生は修行」と思っていたが「心よく生きていく」という気になった「ことを思い出す。「いまは、自分で本を書きたいので、取材として本を読む」という佐久間さんに、森久保さんは「一度、読者を限定して書いてみるというですよ。取材がはつき

りします」とアドバイスする。

佐賀県出身の小寺代表は、同県の武士道の本「葉隠」を紹介。先祖が「子供の盗みの潔白を証明するために腹を切った」くらいさまで、まじい精神の持ち主だったことを知り、県民性について考えたという。「佐賀県民はまじめ、と思う。百年前の本に影響を受けているのかしら」と冗談も。会員の経験談をもとにした交流が和やかに続く。

同会は三年前、同館主催の成人学校「人間関係をよくすることは会の」の受講者で発足。幅広くコミュニケーションを学んでいる。石川容子さん(51)は「先生から心温まる一言が添えられた賀状を見せていただきました。私もこんな手紙を書きたい」と暮らしに役立つ表現をめざす。

エッセイを書く野沢正敏さん(71)は「みんなと話し合うと書く発想がわくんです」と笑顔。

手帳に日々の発見をつづる阿部尚三さん(65)は「ここで自分の日本語の見直しをしています」。連絡は☎(411)71222の小寺紀代子さん(FAXなし)。

文／小誌・井上徳子
カメラ／小誌・菅原純子

日常の暮らしのなかで、人間関係をよりなめらかにする「いいことば」を文学作品から学ぶ「ふみの会」 小寺紀代子代表(57) 散歩を楽しんでいる。

人間関係つなぐことばを探る

ふみの会(中原区)

はりきってます グループ紹介

気功で健康づくりに励む

気寿会(中原区)

心身のバランスを整え、治癒力や免疫力を高めようと、「気寿会」橘田寛治代表(91)ら二十七人Ⅱは中国の養生法「気功」で、楽しく健康づくりに励んでいる。月三回水曜日の午後、JR武蔵新城駅近くの新城神社内のクラブ会館に集う。鳳凰功練功会主宰の中谷吉江さん(55)が指導する。

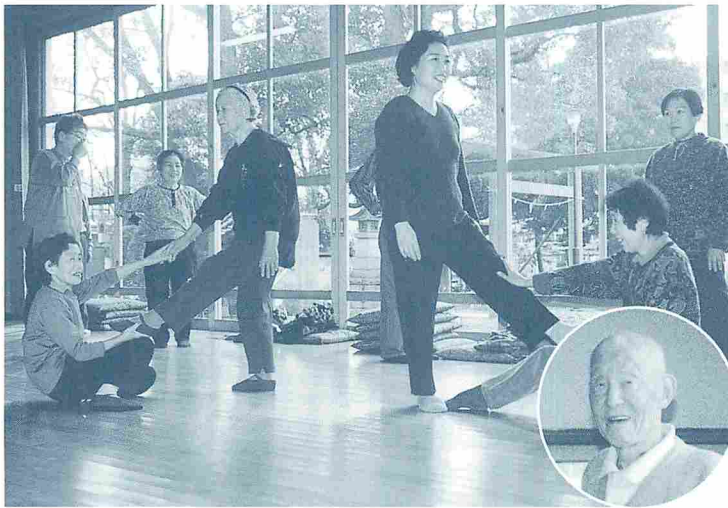
まず、気の通りをよくするため体をほぐす。右手を高くあげずぐに力を抜く、両手を体に巻きつけるように振りながら背中をたたくなどの動作を繰り返す。十分もすると全身がじんわり温かくなる。

続いて、二人一組になって腰痛に効果のある気功法。一方の人がひざを伸ばしたまま、片足を三十センチくらいあげ、相方はそのかかとを手で支える。「腰は曲げないで、経絡をよく伸ばしましょう」と会員の間をまわり、声を掛ける中谷さん。「あら、その二人は歌舞伎の見得のようですね」と会

員をリラックスさせる。その後「ドレミのうた」に合わせたの鍛錬。中谷さんが図を示しながら「フア」を歌うときは丹

なかまと鍛錬続け 治癒力高まった!

田(へその下)を、「ラ」は天目(みけん)を、「シ」の時は百会(頭頂)を両手でおさえて下さい」と説明。会員たちは「ミとフアの動作をまちがえちゃった」「歌の後半は速くなるからややこしいね。これは頭の体操だね」と談笑。鍛錬を繰り返すうちに歌と動作が合い、会員の「気」がみなぎる。健康への関心を持続するために



は、グループで一緒に楽しく励ましあうことがポイントのようだ。「気」とは、自然や人間が持っているエネルギー。この「気」を調節する鍛錬法が「気功」。心身のバランスを整え、人間が本来持っている治癒力や免疫力を高める。同会の発足は四年前、中原市民館主催の「新城いきいきセミナー」の受講者で発足した。

桑名富士子さん(56)は「ひざが悪く正座できませんでしたが、いまはよくなり、気持ちも明るくなりました」と笑顔。

三島道夫さん(73)は「一人だと怠けそう。会があると続けられ、「気」を実感できるようになりました」と話す。

平石ろくさん(78)は「健康維持に欠かせません。みんなに会えるのも楽しみです」と元氣。

橘田代表(円内)は「仲間と一緒に練功したり、話をしたり、楽しい時間を過ごすのが健康にいいようです。どなたでも気軽にごぞ」と参加を呼び掛ける。

連絡は ☎(777) 2831の三島タイさん(FA Xなし)。

文 / 小誌・菅原純子
カメラ / 小誌・井上徳子

仲間と楽しむ

学び

活動する

生き生きと

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演



①わくわく実験教室
いろいろな物を計ってみよう
②科学実験教室
電気を作ろう
◆東芝科学館

①は4月10日(土)10時と13時。対象は小学生。無料。各250人
②は4月24日(土)10時と13時半。対象は小中学生。無料。各50人。申し込みは(549)2200。

①POP広告講座
②宅建物取引主任者資格受験準備講座
◆市労働会館
①は5月13日から毎月・木曜18時15分、全14回。1万2千円。先着25人
②は5月14日から毎火・金曜13時半、全30回。3万円。先着35人。申し込みは4月25日(日)9時から(222)4416。

「川崎糖尿病市民講座」
市産業振興会館
4月17日(土)13時「糖尿病とつまく付合うコツ」の公開討論会。
パネラーは半田みち子・市立井田病院内科医▽戸田和

市外局番のないものは044

正・聖マリアンナ医科大学
院栄養士ほか。無料。350人。詳細は(044)5(474)0361のノボノル・ディスク・ファーマ。川崎糖尿病懇話会主催。

「成人学校」
①今昔物語集の世界
②花を飾るたのしみ
③フラワーデザイン入門
④シルバセミナー
◆岡上分館
①は5月12日からの毎水曜10時、全10回。講師は小島裕子・和光大講師。受講料4千円。30人(抽選)
②は5月14日からの毎金曜10時、全10回。講師は山口美知子さん。受講料4千円、教材費5千円。20人(抽選)
③は5月13日からの毎木曜10時、全10回。60歳以上。教材費のみ実費。先着30人。申し込みは①②4月21日(水)10時に来館③22日(木)10時から(988)0268。

「入門点字講習会」
②手話入門講習会
◆市北部身体障害者福祉会館
①は5月21日からの毎金曜18時、全6回。教材費2千3百円。

20人(抽選)
②は5月25日からの毎火曜18時半、全6回。無料。45人(抽選)。
申し込みは4月21日(水)5月8日(土)に往復はがきに講座名、住所、氏名、年齢、生年月日を記して213-00001高津区溝口1-18の16、同館。(81)6631。

「リハビリ講習会」
◆市北部身体障害者福祉会館
4月18日からの毎月第3日曜13時半、全12回。理学療法士の指導で機能回復訓練を市内在住の脳卒中の後遺症のある方とその家族。無料。30人。申し込みは(81)6631。

「陶芸②カタンタナ絵画」
◆市青少年創作センター
①②とも5月22日(土)同23日からの毎日曜9時半、全4回。対象は小中学生。各30人(抽選)。教材費①千円②千5百円。申し込みは4月10日(土)までに往復はがきに教室名、住所、氏名、学校名・学年、性別、(0)を

記し、〒214-0034多摩区三田2の3303の1、同センター・初夏係。(911)1510。

「トルベイント」
②ポプリ&ハーブ
◆市青少年創作センター
①は5月20日からの毎木曜9時半②は5月21日からの毎金曜9時半。全4回。成人。受講料・教材費は5千6百円。定員20人(抽選)。申し込みは4月10日(土)までに往復はがきに教室名、住所、氏名、性別、(0)を記して214-0034多摩区三田2の3303、同センター初夏係。(911)1510。

「和光大学オープン・カレッジ」
◆同大ばいであい
5月10日(月)から開講の講座の受講生募集。アジアの諸言語▽技術とくらし▽描く・話す・創る▽歴史と芸術文化を学ぶ▽社会と人間を考えるをテーマにした50科目。週1回百分、全6回。受講料は9千3百円。申し込みは9千3百円。申し込みは9千3百円。申し込みは9千3百円。

みは4月16日(金)まで。資料は(044)(988)1433の同大学大学開放係。会場は小田急線鶴川駅前。

「成人学校」
①風と共に去りぬの世界
②楽しい山歩き入門
③河童よもやま話
④旅先で描くポケットスケッチ
⑤韓国を知ろう
◆麻生市民館
①は4月28日からの毎水曜10時、全10回。講師は大島良行・専修大教授②は5月12日からの毎水曜14時、全8回。講師は山の写真家・鈴木澄夫さん③は5月7日からの毎金曜14時、全10回。講師は演芸作家・大野桂さん④は4月23日からの毎金曜14時、全5回。講師は勝俣泰蔵・日本水彩画会会員⑤は5月14日からの毎金曜18時半、全5回。受講料は2千4百円。教材費実費。申し込みは4月20日(火)⑤18時半、他は10時来館。(951)1300。

「講習会」
①シンビジウムの育て方
②春まき草花の育て方
◆市緑化センター
①

学習・文化情報

学習・文化情報

参加したい催しがある

は4月21日(水)13時半。教材費2千円②は5月12日(水)13時半。教材費5百円。各30人(抽選)。申し込みは①4月14日(水)②30日(金)までに往復はがきに講習会名、住所、氏名、☎を記して214-0002-1多摩区宿河原6の14の1、同センター。☎(911)2177。

「コミュニケーションの達人になる!」◆登戸ドレスメーカー学院「4月20日(火)10時。スピーチとユーモア会話術。受講料千円。先着20人。申し込みは午前中に☎(911)2221の同院。向ヶ丘遊園駅下車。

「成人学校①地図の旅を楽しまう②スイスの魅力を検証する③生活リズムを!」◆たまたま④簡単!スピードクッキング◆多摩市民館「①は6月1日から毎火曜14時、全5回。講師は旅行作家・大沼一雄さん。40人(抽選)②は5月19日からの毎水曜14時、全5回。35人(抽選)③は5月22日からの毎土曜10時、全5回。講師は小林政高・未来太鼓道場主宰。30人

(抽選)④は5月23日からの毎日曜10時、全5回。講師は料理研究家の米井智子さん。25人(抽選)。対象は15歳以上の市内在住・在勤者。受講料は各2千円④教材費3千円。申し込みは4月22日(木)①②10時、③④18時半に来館。☎(935)3333。

「園芸教室◆サンライフ川崎」5月16日からの毎日曜10時、全5回。受講料4千円、教材費実費。先着30人。申し込みは☎(344)1777。

「公開講座◆玉川大学」5月から始まる講座の受講者募集。TOEFLマスコ

催し



「宮前文化センターサークル◆宮前文化センター」同館で活動のサークルの発表。4月8日(木)10時~11日(日)16時。水墨画・写真他の作品展示マコンサートマ公開講座他。詳細は☎(888)3911。

「指定文化財現地特別公

EICマ中国語入門マスペイン語入門マポピュラーソングをあなたにマレッツエンジンジョイ イングリッシュユマ3人で学ぶ英会話マ短歌入門マやさしい俳句入門マ書に親しむマかなに親しむマ書道マ漢字。受講料1万~3万2千円。☎042(739)8895の同大継続学習センター。玉川学園前駅下車。

「パソコン研修◆市産業振興会館」4~6月に開催する初心者、経験者向け19講座の受講者募集。受講料1万~4万円。詳しくは☎(548)4119の市産業振興財団情報開発課。

開◆薬師院「4月3日(土)10日(土)10時~15時半(3日のみ13時から)。市の重要歴史記念物「盤珠(ばんしゆ)永球(えいきう)画像」写真展を公開。無料。同院はJR溝ノ口駅から東急



バス「蟹ヶ谷」行きで末長下車。問い合わせは☎(200)3306の市教委文化財課。

「99かわさき市民「第九」コンサートソリスト・オーディション」5月29日(土)13時、麻生市民館。ソロパート各部門1人。市内在住・在勤・在学の人。無料。申し込みは5月10日(月)までに履歴書(写真添付)、推薦書、外国語のオペラリアと歌曲(日本語可)を2曲吹き込んだテープを同封し、〒2110-0007川崎区駅前本町12の1タワーリパーク3階、市文化財団同コンサート係。詳細は☎(222)8821。

「川崎合唱まつり参加団体募集」7月17日(土)18日(日)に幸文化センターで開催する同まつりの参加団体を。申し込みは所定の用紙に記入し5月17日(月)までに、〒210-0007川崎区駅前本町12の1タワーリパーク3階、市文化財団まつり事務局。詳細は☎(222)8821。

「①映画劇場②子どもサ

「カスシヨ」③子ども映画劇場◆川崎市民プラザ「①は5月1日(土)14時と18時。「ピン」②は5月2日(日)11時と14時。トランポリンシヨールほか③は5月3日(祝)10時と14時。「わんわん物語」。いずれも無料。①③当日先着各5百人②当日直接。☎(888)3131。

「①星の撮影教室②ワクワクワークくくだものでんちをつくらう」◆市青少年科「学館」①は5月21日(金)19時から月齢6日の月を。雨天中止。持参品あり。小学5年以上先着10人②は5月16日(日)13時。小学3年以上先着20人。いずれも無料。申し込みは①4月21日(水)②4月27日(火)から☎(922)4731の同館。

「①ボランティア募集②学級・セミナー企画委員募集◆麻生市民館」①は知的障害の青年たちの余暇・社会活動の場「あさお青年教室」②は平和・人権尊重学級マ女性セミナーマ地域セ

「①②とも受付中。詳細は☎(951)1300の同館。

学習・文化情報

みたい絵がある

ギャラリ



「中村正義の美術館」 4月4日(日)まで「中村正義顔」▽4月10日(出)から、著名人の肖像画の「20世紀の顔展」。写真は「福田赴美氏像」。一般500円、学生



300円▽4月17日(出)16時半ミュージアムトークは写楽研究家の「福富太郎氏を囲んで」。参加費千円。先着70人。申し込みは☎(953)49366の同館。読売ランド前駅からバス。

「スナック喫茶琴」 4月15日(休)まで、山口昭弘の写真▽4月16日(金)〜5月1日(出)、渡辺法一の水墨画。☎(544)0507。鹿島田駅下車。

「ギャラリ幸」 4月9日(金)〜14日(水)、開設9周年展。☎(555)8181。

川崎駅西口下車。

「市民ミュージアム」 4月24日(出)から「芸術都市へ・かわさき」。テーマは

「市民の創作活動のあゆみ」ほか▽4月6日(火)から、現代日本のポスター展。一般500円、小〜大学生200円。☎(754)4500。

「画廊ランブ屋」 4月8日(休)〜25日(日)、ヨーロッパオリジナルポスター展。☎(945)4416。稲田堤駅下車。

「会館とどろぎ」 4月1日(休)〜20日(火)、会館とどろぎ講座〜子ども絵画・書道展。☎(733)3333。

「アートホール新町」 4月15日(休)まで、瀬川裕幸の絵画▽4月16日(金)から、写真展「早春より盛春へ」。金子明ほか。☎(344)6444。川崎新町駅下車。

スポーツ



①減量大作戦②エアロビクス入門◆麻生スポーツセンター①は5月15日からの毎土曜16時半、全10回。4千円②は5月11日からの

毎火曜19時、全10回。4千円。15歳以上。定員①40人②20人。申し込みは①4月17日(土)14時②4月20日(火)19時に同館で抽選。☎(951)1234。

「テニス教室◆市富士見テニスコート」 4月23日からの毎金曜、全10回。初級は9時半、中級は11時半。受講料・教材費1万円。各18人(抽選)。申し込みは4月5日(月)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、☎、初・中級を記し〒21110064中原区今井南町514の1、市生涯学習プラザ内スポーツ事業室。☎(733)5572。

①少年スポーツ教室、体操・トランポリン②卓球、初級③たのしい健康ヨーガ◆幸スポーツセンター①は5月6日からの毎木曜16時半、全10回。小学1〜4年、30人。600円②は5月11日からの毎火曜14時、全10回。4千円(教材費500円)③は5月12日からの毎水曜14時、全10回。4千円。②③は15歳以上40人。申し込みは①4月22日(木)16

時②4月27日(火)14時③4月28日(水)14時に同館で抽選。☎(555)3011。

「空手道◆石川記念武道館」 4月17日からの毎土曜18時15分、全12回。30人。1回大人100円、小人50円。申し込みは4月11日(日)10時に同館で抽選。☎(544)0493。

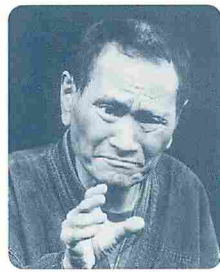
①社交ダンス短期集中講座②社交ダンス教室◆川崎市民プラザ①は4月29日(祝)〜5月5日(祝)10時、全7回。ルンバ、チャチャチャの基本。1万円。男女各15人(先着順)②は5月8日からの毎土曜、全10回。中級は9時、初級は10時55分。1万2千円。先着男女各40人。申し込みは①4月1日(木)②15日(木)から受講料を添え同所フロント。☎(888)3131。

「女性硬式テニス教室◆川崎市民プラザ」 5月10日からの毎月曜、全10回。初級は10時、中級13時。1万2千円。20〜30人(抽選)。申し込みは4月16日(金)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、☎、コースを記し〒

マルセ太郎の

殺陣師段平物語

〜君は新国劇を見たか〜



5月22日(土)午後2時開演 川崎能楽堂 全自由席3,000円

(JR川崎駅下車)

申し込みは4月8日(木)10時から ☎(222)8821の市文化財団

学習・文化情報

ききたい音楽がある

21310014高津区新作1の19の1、同所同教室係。☎(888)3131。

〔①太極拳〕初級②親子スポーツ教室③シルバースポーツ教室◆市体育館①は5月8日からの毎土曜10時、全10回。4千円。15歳以上40人②は5月11日からの毎火曜A9時半とB10時45分、各全10回。3千円。3・4歳児とその父母の各40組③は4月14日からの毎水曜A13時半とB15時、各全10回。1回120円。55歳以上各40人。申し込みは①4月24日(土)10時②4月27日(火)10時③4月7日(水)14時に同館で抽選。往復はがきでの申し込み可。☎(200)32255。

〔①パドルテニス②スポーツあれこれ〕エアロビ・ダンベル◆とどろきアリーナ①は5月13日からの毎木曜10時、全10回。4千円。40人②は5月8日からの毎土曜11時、全5回。2千円。20人。いずれも15歳以上。申し込みは抽選日の2日前まで、抽選は①4月22日(木)14時②4月17日(土)14時に

同館で。☎(798)5000。

〔①生涯青春 健康体操〕ストレッチ・エアロビ②親子体力づくり◆とどろきアリーナ①は5月12日からの毎水曜10時、全10回。

ステージ



〔伊藤恵〕写真Ⅱピアノリサイタル◆糞ホール〕4月16日(金)19時開演。シヨパン「幻想即興曲 嬰八短調」

他。全自由席4千円。☎(812)6090。満口駅下車。

〔高津市民オーケストラ定期演奏会◆エポックなかはら〕4月4日(日)14時開演。指揮は末永隆一。ドヴォルザーク「交響曲第8番」ト長調。他。全自由席5百円。問い合わせは☎(811)



他。全自由席4千円。☎(812)6090。満口駅下車。

〔高津市民オーケストラ定期演奏会◆エポックなかはら〕4月4日(日)14時開演。指揮は末永隆一。ドヴォルザーク「交響曲第8番」ト長調。他。全自由席5百円。問い合わせは☎(811)

〔伊藤恵〕写真Ⅱピアノリサイタル◆糞ホール〕4月16日(金)19時開演。シヨパン「幻想即興曲 嬰八短調」

他。全自由席4千円。☎(812)6090。満口駅下車。

〔高津市民オーケストラ定期演奏会◆エポックなかはら〕4月4日(日)14時開演。指揮は末永隆一。ドヴォルザーク「交響曲第8番」ト長調。他。全自由席5百円。問い合わせは☎(811)

〔伊藤恵〕写真Ⅱピアノリサイタル◆糞ホール〕4月16日(金)19時開演。シヨパン「幻想即興曲 嬰八短調」

他。全自由席4千円。☎(812)6090。満口駅下車。

〔高津市民オーケストラ定期演奏会◆エポックなかはら〕4月4日(日)14時開演。指揮は末永隆一。ドヴォルザーク「交響曲第8番」ト長調。他。全自由席5百円。問い合わせは☎(811)

〔伊藤恵〕写真Ⅱピアノリサイタル◆糞ホール〕4月16日(金)19時開演。シヨパン「幻想即興曲 嬰八短調」

他。全自由席4千円。☎(812)6090。満口駅下車。

〔高津市民オーケストラ定期演奏会◆エポックなかはら〕4月4日(日)14時開演。指揮は末永隆一。ドヴォルザーク「交響曲第8番」ト長調。他。全自由席5百円。問い合わせは☎(811)

〔伊藤恵〕写真Ⅱピアノリサイタル◆糞ホール〕4月16日(金)19時開演。シヨパン「幻想即興曲 嬰八短調」

会員募集

●川崎市民オペラ合唱団

《白幡武事務局長》川崎市民オペラに出演しています。オペラの衣装や小道具作りも楽しく、舞台でフル回転しています。練習は毎月第1・3日曜10時から、高津・多摩市民館ほかで。入団費千円、月会費は一般3千円、中学生・大学生千円。連絡は☎・FAX(811)5383の同事務局。

ヘンデルとグラーテル、オペラの中の結婚は？

5月5日(祝)午後2時開演 多摩市民館

(向ヶ丘遊園駅下車)

全自由席2,500円(高校生以上)、1,000円(小・中学生)

◇出演 佐竹由美、佐藤征一郎、白幡武、市民オペラ合唱団

ほか

問い合わせは☎(811)5383の同事務局

第6回
川崎市民オペラ
ヨールテン
コンサート

編集後記

飛躍のための別れに

先日、次号の「ほんねインターネットを話す」に備えて、コーディネート、インターネット、ユアアー、スタツフによる「三者会議」があった▼それは、担当者の私も参加して自由に発言できる素晴らしい論議の場である▼インターネット記事が紙面に載るまでには、さまざまな苦労や「仕掛け」があることを少し前まで私は、ほとんど知らなかった▼三者会議では、コーディネーターが作ってきたシナリオのたたき台をもとに「テーマは？」「キーワードは？」と話し合う▼するとあっさり不協議、ゲストに聞きたいことが、まとまりはじめる▼意見が出しあえる場であるためか、ついつい生意気なことを言わせてもらった、と思う▼でも「そうした論議があるから、読者の方々が毎号、川崎人の記事に感激してくださる」との意見を素直に信じ、時には有頂天になつたりして……▼この二年間、いろいろな取材を通して「事実を学ぶ」を体験しながら、多くの方々から、たくさんのギフトをいただいた▼これまでのお礼と感謝をこめて、スタツフしか知らないギフトの一つを読者の方々にお分けしたい▼「見出し(キーワード)」が、自然に頭に浮かぶ文章はい記事である▼「ステーション・アップ」のスタツフの一員になったことを生涯の誇りにしたい(井上)。小誌スタツフの井上徳子が三月末日で退職し「ミセス」発行の文化出版局に転進、趣味の季刊誌「銀花」に配属される予定▼明るい率直なキャラクターが多くの読者の方々に信頼され「井上さん」が結婚するときは教えて」という中高年読者も▼報道の仕事は、肩書でなく心の触れ合いによつて情報源を広げる▼小誌スタツフは嘱託職員▼「この仕事を踏み台に次を」の助言を見事実行しやがって(田)。

「あそびの寺子屋」の参加者募集

基本的な生活技術を身につけよう

- 対象/定員……市内の小学4、5年生/先着50人
 - 活動場所……川崎市の施設
 - 活動方法……毎月1回、宿泊しながら活動。日程は表をご覧ください
 - 費用……入会金1万円▽年会費6千円▽他に毎月食事代、宿泊費、材料費
 - 申し込み……4月10日(土)までに☎(855)1787の小林方・同事務局
- 主催/川崎市野外活動研究会 後援/川崎市教委、当事業団

月日	テーマ・内容	月日	テーマ・内容	月日	テーマ・内容
4月17日(土)	「寺子屋」開き～	8月7日(土)	親子キャンプ～	12月18日(土)	お正月のしたくは
18日(日)	仲間づくりと約束	～9日(月)	大自然の中で生活	19日(日)	なんのため
5月15日(土)	テント張りを体験	9月18日(土)	生活用具を作り、	1月15日(土)	むかしのあそびを
16日(日)		19日(日)	自然の中で泊まる	16日(日)	体験
6月19日(土)	野外で炊事～刃物の	10月16日(土)	ハイキングをしな	2月11日(金)	星座の観察やソリ
20日(日)	の使い方を練習	17日(日)	がら、まちを調査	～13日(日)	遊び、わらじ作り
7月17日(土)	キャンプ～テント	11月20日(土)	お祭り～みこしを	3月18日(土)	「寺子屋」の一年
18日(日)	生活や野外料理	21日(日)	つくり、かつぐ	19日(日)	間を振り返る

●テーマ・内容は簡略化しています

発行

(財)川崎市生涯学習振興事業団
電話 044(952)5000代

FAX 215-0004
044(952)1350
川崎市麻生区万福寺一の二、新百合21ビル
編集人・田中 園